

【実施目的】

1. 地域団体との連携・協働により、運動・スポーツを通じた地域のつながりづくりや地域課題の解決、まちのにぎわいづくりに向けて、第2期東海村スポーツ推進計画を推進する上での具体的な方策を検討する。
2. 東海村第3次健康づくり計画の令和6年度重点目標「健康づくりの活動強化・健康づくりを担う人が育つ」に基づき、地域団体等において健康づくり分野に寄与する人材を育成する。

＜第1回＞

1. 日 時 令和6年9月5日（木） 午前10時00分～午前12時00分
2. 場 所 東海村総合福祉センター「絆」検診ホール
3. 出席者 東海村健康づくり計画推進委員 （計13名）
東海村スポーツ推進計画推進委員 （計7名）
塚原委員長，松坂委員，黒羽根委員，高橋委員，田村委員，海老原委員，菅谷委員
4. 次 第 （1）各計画・委員会の取り組み紹介
（2）グループワーク
「運動・スポーツ・健康づくりを始める，継続するために必要なこと」
5. 主な意見

▼始めるためには「きっかけ」が必要。継続するためには「仲間」や「場所」などの広い意味での「環境」が必要。▼教室等の周知方法について，若者は SNS が主流だが紙媒体も大切。広報とうかいだけでは周知しきれない部分がある。村の事業や教室等をまとめたチラシなどがあると良い。▼アプリのポイントや，歩数・ランキング等の数字で成果が見えると意識の向上につながる。また，アプリ自体の PR や使い方の講座などがあると良い。▼異年齢の集まりがあると，「仲間づくり」につながる。働き世代や若者，高齢者等，参加しやすい時間帯や場所の選定が大切。



<事業交流 1> ニュースポーツだヨ！全員集合！！（グラウンドゴルフ，ペタンク）

1. 日 時 令和6年11月30日（土）午前10時00分～午前11時30分
2. 場 所 東海村総合福祉センター「絆」検診ホール
3. 参加者 東海村健康づくり計画推進委員（計14名）



<事業交流 2> みんなですこやかウォーキング（石神 歴史ロマンの道コース）

1. 日 時 令和6年12月6日（金）午前9時30分～午前11時00分
2. 場 所 東海村総合福祉センター「絆」検診ホール
3. 参加者 塚原委員，石丸委員，竹下委員（計3名）ほかスポーツ推進委員3名参加



<第2回>

1. 日 時 令和7年1月29日(水) 午前10時00分～午前12時00分
2. 場 所 東海村総合福祉センター「絆」検診ホール
3. 出席者 東海村健康づくり計画推進委員 (計11名)
東海村スポーツ推進計画推進委員 (計7名)
塚原委員長, 松坂委員, 黒羽根委員, 富岡委員, 田村委員, 海老原委員, 菅谷委員
4. 次 第 (1) 他団体の事業に参加した感想の共有
(2) グループワーク
「委員として、運動・スポーツ・健康づくり習慣をより多くの人に広めるために」

5. 主な意見

▼情報発信は永遠の課題なので、年代等に応じた広報手法を研究する必要がある。▼事業交流したニュースポーツやウォーキングは運動が得意でない方にとっても参加しやすい内容だった。曜日や時間帯等、働き世代や親子連れが参加しやすい場の設定が大切。▼ウォーキングだけでなくサイクリングも身近な運動の一つ。久慈川サイクリングコースも活用できるのでは。▼子どもが参加したいイベントを開催し、保護者を巻き込むという仕組みが有効。▼総合体育館や絆のトレーニングルームは設備が充実していて格安なので、PRを強化して多くの村民に利用してほしい。▼中学校運動部活動の地域移行は、子どもが地域と関わる機会が増えるということなので、単なる運動の場だけでなく、地域のつながりづくりの場としての機能を目指せるとよい。子どもは運動・スポーツ、大人は健康・仲間・楽しみづくり。▼アプリを活用しポイントに応じた景品の贈呈でモチベーションを維持・向上できるとよい。なお、アプリの活用にあたっては、不慣れな方を想定して丁寧な対応が必要。

